



育て相談を受け、赤ちゃんの健やかな成長、楽しい子育てを応援します

この季節何を着せたらいいの？
近くに育児相談ができる場所はないの？
などお気軽にご相談ください



【保健予防課】

■麻しん・風しん予防接種

	対 象
第1期	生後12月以上24月未満
第2期	平成15年4月2日～平成16年4月1日生まれ
補足接種	今年度13歳になる人(中学1年生相当) 18歳になる人(高校3年生相当)

◇接種場所...委託医療機関(必ず予約をしてください) ◇今年度の対象者が無料で接種できる期間は来年3月31日までです ◇予防接種は体調のよいときに早めに受けましょう ◇詳しくは保健予防課へ

■BCG接種はお早めに

◇乳児のBCG接種の対象年齢は生後6カ月未満です ◇生後3カ月に達したら、早めに接種を受けましょう



【保健予防課】

伸びよう 伸ばそう さつまっ子

◇12月16日(水)～1月16日(土)は冬の心豊かで元気あふれる「さつまっ子」を育てる運動期間です ◇「家族の約束」を確認し、みんなで取り組みましょう ◇家族で1年を振り返り、新しい年を迎える準備をしましょう ◇家族で地域活動にすすんで参加しましょう ◇伝承活動や年中行事で、子どものふるさと意識を育てましょう



地域の伝統芸能を守るさつまっ子
【青少年課 227-1971】

申請

■平成22年度分保育所入所申し込み
◇対象...保護者が仕事、妊娠・出産、病気、求職などで保育ができない乳幼児(今年度分の申し込みをして、待機中の人も再度申し込みが必要) ◇申込期間...第1期は1月20日まで、第2期は1月21日～2月22日、以降随時受け付け ◇入所決定は第1期申し込み分から行います ※第1期申し込み分のうち、求職を理由とするときは第2期申し込み分と同時に入所決定を行います ◇申込書などは子育て支援推進課、各支所、各保育所で配布 ◇詳しくはサンサンコールかごしま 099-808-3333へ



■乳幼児に対する医療費助成
◇対象...市内に住む小学校就学前(6歳に達する日以後の最初の3月31日まで)の乳幼児 ◇助成額...保険診療による負担額に対し、0歳～3歳未満の子どもは全額、3歳～小学校就学前の子どもは1カ月2000円を超えた分を助成(市町村民税非課税世帯は全額助成) 【こども福祉課 216-1261】

■母子・父子家庭などへの医療費助成
◇対象...18歳になる日以後の最初の3月31日までの児童が20歳未満で一定の

障害のある児童を扶養している母子・父子家庭の人と父母のいない児童
◇所得制限があります ◇詳しくはこども福祉課216-1261、各支所の福祉課・保健福祉課へ

■各種手当の申請はお済みですか
【児童扶養手当】
◇対象...離婚、死亡、未婚などで父親がいないか、父親が重度障害者であるなどの児童(18歳以下か一定の障害状態にある20歳未満)を監護している母親かその児童を養育している人(公的年金(老齢福祉年金を除く)を受給している人を除く)
【特別児童扶養手当】
◇対象...精神や身体に重度・中度の障害がある20歳未満の児童を養育している人

児童扶養手当の振込日
◇8月～11月分の手当の振り込みは12月11日(金)です

■共通事項一
◇児童が児童福祉施設に入所中を除く
◇申請が認定されると、申請の翌月分からの手当が支給されます ◇所得制限あり
【こども福祉課 216-1260】

■貸付要件が緩和されました
母子・寡婦福祉資金
◇対象...市内に住む母子家庭の母、寡婦と父母のいない児童 ◇就学資金...高校、高等専門学校、専修学校、短期大学、大学での修学に必要な資金(他の奨学資金を受けている児童を除く) ◇就学支度資金...来春進学する際の入学金、就学に必要な衣服などの購入資金 ※ほかにも各種資金があります ◇来年度の申請を受け付けています ◇詳しくは母子自立支援室216-1264、各支所の福祉課・保健福祉課へ

■入学一時金貸与希望者募集
◇対象...市内に住み、来年4月高校などに入学する生徒の保護者(所得制限あり) ◇貸与額...国公立4万円、私立10万円 ◇申請方法...各中学校に配布している募集要領に基づき、学校を通じて1月29日までに申請してください ◇詳しくは教育委員会総務課227-1992へ



■妊婦健診費用の一部を払い戻します
◇対象...今年2月・3月に受診票を使用せずに受診し、受診時において市内に住んでいた人(受診医療機関は県内、県外を問わず) ※保険診療の検査は対象外 ◇必要書類...申請書、母子健康手帳(4～7ページ)の写し、領収書の写し(レシートは不可) ◇申請方法...3月31日(必着)までに直接か郵送で〒890-8543鴨池二丁目25-1-11保健予防課へ

お知らせ

■産後ケア事業
◇内容...助産所入所による母体管理の指導、授乳やもく浴などの育児指導
◇対象...出産後、身近に世話をしてくれる人がいないなど、産後の体調や育児に不安のある人 ◇入所期間...出産した施設を退院後7日以内 ◇利用料...1日9000円(市民税非課税世帯の人は3300円、生活保護世帯の人は無料) ◇詳しくは保健予防課へ

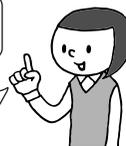
■こんにちは赤ちゃん事業
◇対象...新生児訪問を受けなかった生後4カ月ごろの乳児 ◇訪問指導員が家庭を訪問し、子育て情報の案内や子

子育て・知っ得情報

集まれ子育て一年生 育児教室



初めての赤ちゃんで不安があります。同じ子育て初心者のお友だちができるかと心強いのですが。



子育てのいろはが学べて、お友達もできる「育児教室」に参加してみたいかながら。

【南部保健センター】
◇日時 1月12日～2月2日の毎週 火曜日13時30分～15時30分(全4回)
◇定員 60組(先着順)
◇申し込み 12月11日から電話で南部保健センターへ

【東部保健センター】
◇日時 1月12日(火)・18日(月)・25日(月) 2月1日(月)13時30分～15時30分(全4回)
◇定員 40組(先着順)
◇申し込み 12月14日から電話で東部保健センターへ

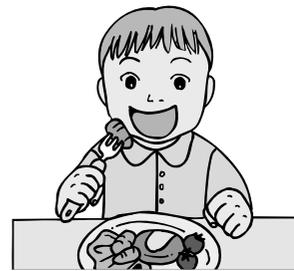
■共通事項一
◇内容 親の役割、子どもの病気や、離乳食、発育としつけなど
◇対象 今年7月～10月に生まれた初めての子どもをもつ親とその家族
◇受講料 無料
※育児教室は各保健センターで行っています。開催時期などは各保健センターへお問い合わせください

ワンポイントアドバイス 幼年期の食事

幼年期(0歳～5歳ごろまで)は心と体の健やかな成長を目指し、食習慣の基本を身につける大切な時期です。

【授乳期・離乳期】
◇安らいだ中で母乳(ミルク)を飲み、離乳食を食べる経験を通して、食欲や食べる意欲といった食の基礎が作られます
◇そしゃくの開始や味覚の形成期としても重要な時期で、周りからの声かけ、働きかけが大切です

【幼児期】
◇睡眠・食事・遊びなど活動にメリハリがでてきて、生涯にわたる食事リズムの基礎を作る大切な時期です
◇活動範囲も広がり、好奇心も強くなっていくころ。“食”に対して興味を持てるように、食べる意欲を大切に“食”の体験を広げていきましょう
◇かみ方、食べ方、マナーを身につけ、食べることを楽しく感じられるようにすることが大切です



【保健予防課】